

めでいかすとる *Médicastre*

一般社団法人
鶴岡地区医師会
基本理念

鶴岡地区医師会は、地域住民の健康維持・増進と健やかな長寿社会の実現のために地域に貢献するとともに、医の心を忘れず知識と技術の向上をめざし、不断の研鑽に励みながら日々前進する組織をめざします。



「きらきらぼし」

鶴岡地区医師会

令和5年 7月号

一般社団法人鶴岡地区医師会 第108回定時総会

日時：令和5年6月16日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

堀内議長：定刻となりましたので、一般社団法人鶴岡地区医師会第108回定時総会を開催します。最初に資格確認をお願いいたします。

土屋事務局長：資格確認についてご報告いたします。総会員の議決権数163名、19時現在の出席者数21名、委任状の提出者91名、計112名となり、定款第19条総会の成立に必要な過半数の出席および第3号議案の決議に必要な3分の2以上の出席を満たしておりますので、本総会は成立しておりますことをご報告いたします。

堀内議長：ありがとうございました。それでは会長あいさつに移ります。福原会長、よろしくお願ひいたします。

福原会長：会長の福原でございます。本日はご多用のところ、また生憎の天候の中、鶴岡地区医師会第108回定時総会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。初めに、総会資料の記載内容に訂正があり、資料の差替えをお願いいたしましたことについてお詫び申し上げます。今後は、事前のチェック体制を強化してまいりますので、よろしくお願ひいたします。この1年間も、5月8日から5類相当に移行した新型コロナウイルス感染症対策に多くの時間を費やしてまいりました。この間、会員の皆様方には発熱患者の診察・検体検査、ワクチン接種など、変わらずのご協力を賜りましたことを改めて御礼を申し上げます。報告方法の変更により、正確な感染状態がわかりにくい状況になっており、県への報告数を見ると患者数は微増のようですが、実

際はもう少し感染者数が多い印象です。既に9波に入っているという見方もあり、またインフルエンザあるいは原因不明の感染症なども見受けられ、以前と異なる状況がうかがい知れます。感染症は定点報告ですが、先生方の日常の診療でこれはちょっとおかしいということがございましたら、是非メーリングリストなどを利用し情報提供をお願いいたく存じます。さて、昨年度の医師会事業の中では、64年の歴史ある鶴岡准看護学院が3月末を持ちまして閉校いたしました。最後となる63回生も全員揃って資格試験に合格し、4月からそれぞれの道に進んでおります。この間講師をお引き受けくださった皆様方、学生を雇用しご指導いただきました医療機関の方々にも厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。今後は地域の看護職確保について、今まで以上に対策を講じていく必要があります。新しくなる荘内看護専門学校への入学者の確保や、卒業後の地域への就職誘導、有資格者の掘り起こしから再就職への支援、Iターン・Uターン希望者への就職活動援助や情報提供など、地域を挙げての施策が求められることとなります。また医師会事業において、介護職員の確保も非常に困難になっています。定員割れが常態化している中、介護職員を如何にして安定的に確保するかが大きな課題です。医師会事業に関しては、昨年度よりも収支が悪化したものもありますが、各事業が概ね順調に推移し、補助金収入や経費の削減などによりコロナ禍以前を上回ることができまし

た。しかしながら湯田川温泉リハビリテーション病院では、コロナ禍の影響が大きく、入院患者数が一旦減少してからはなかなか回復しない傾向にあります。これは庄内病院からの紹介患者数が伸び悩んでいることや、在院日数の短期化なども原因ですが、医師の確保ができていないことも大きな要因となっています。今後常勤医の確保は喫緊の課題であり、また働き方改革に伴う宿日直を担う医師の確保も今年度の大きな目標です。会員の先生方にお願いすることもあるかと存じますが、その際にはどうぞご協力をお願いいたします。本日は、これから令和4年度の会務報告、公益目的支出計画実施報告、令和5年度事業計画、正味財産増減予算書および卒後5年間の会費減免の件など4件の報告の後、令和4年度決算承認の件、令和5年度会費賦課（案）、准看護学院閉校に係る定款変更についてご審議いただく予定です。感染対策のために担当理事の説明も簡略化し、事前に配布させていただきました資料をもとに、なるべくわかりやすい形での説明を心がけております。慎重審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願ひいたします。

堀内議長：ありがとうございました。続きまして議事録署名人を選出させていただきます。どなたか立候補される方はいらっしゃいますか。どなたもいらっしゃらないようですので、こちらから指名させていただきます。齋藤慎先生、土田兼史先生の両先生にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。それでは次第に沿って進めてまいりますので、円滑なる進行にご協力くださいますようお願いいたします。では、5.の報告、最初に令和4年度会務報告について総務担当の菅原副会長お願ひいたします。

菅原副会長より説明（略）

（令和4年度に亡くなられた今野裕先生、猪股昭夫先生、齋藤壽一先生、鈴木伸男先生に哀悼の意を表し、一同黙祷。）

堀内議長：ありがとうございました。只今の報告に対し、事前に小野俊孝先生より質問をいただいております。2ページの職員関係について、令和4年度各職種の正職員の採用数と退職者数（中途と定年の別）および充足度（不足数）について、回答を求められています。菅原副会長より回答をお願いします。

菅原副会長：回答につきましては、スライドをご覧ください。令和4年度中の採用と退職の人数および6月1日時点での充足度について表しております。会務報告の人数とは若干連動していない部分がありますので、ご了承願います。スライドの内容ですが職種別に、採用、退職、充足度に分けて表しております。採用は継続雇用を含め32名、退職については定年退職が1名、その他の退職が27名です。看護師の退職が多く、人材紹介会社を活用して採用するケースが増えております。充足度としては11名が不足している状況で、中でも介護福祉士・介護員が最も不足しており、この傾向は近年継続しています。以上です。

堀内議長：只今の回答に対し、小野俊孝先生いかがでしょうか。

小野俊孝先生：了解しました。ありがとうございました。

堀内議長：他にご質問はありますでしょうか。では、次に令和4年度公益目的支出計画実施報告書について、菅原副会長よろしくお願いします。

菅原副会長より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告を、

監事よりお願ひいたします。

木根淵監事より報告（略）

堀内議長：ありがとうございました。只今の説明にご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では、続きまして令和5年度事業計画、正味財産増減予算書について、菅原副会長お願いします。

菅原副会長より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。ご質問のある方はいらっしゃいますか。続きまして、医学部卒後5年間の会費減免の件について、三浦理事より報告をお願いします。

三浦理事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。ご質問のある方はいらっしゃいますか。では、報告を終了いたします。続きまして6.の議案に移ります。第1号議案令和4年度決算承認の件について、最初に各会計の事業計画実施報告および収支計算書を担当理事より説明いたします。質問などは後ほど一括してお受けいたします。最初に一般会計を総務担当の菅原副会長よりお願いします。

菅原副会長、本田理事、石原副会長、中目理事、武田理事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。次に財務諸表について、菅原副会長よりお願いいたします。

菅原副会長より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。それでは、決算関係書類の監査報告を監事よりお願いいたします。

真島監事より報告（略）

堀内議長：ありがとうございました。質疑応答に移ります。ご質問のある方はいらっしゃいますか。それでは第1号議案令和4年度決算承認の件について、お諮りいたします。承認することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

（挙手多数）

挙手多数で令和4年度決算については承認されたものと認めます。次に第2号議案令和5年度会費賦課（案）承認の件について、三浦理事より説明をお願いいたします。

三浦理事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。この件について、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。それでは、第2号議案令和5年度会費賦課（案）承認の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

（挙手多数）

挙手多数につき第2号議案令和5年度会費賦課（案）は承認されたものと認めます。次に第3号議案鶴岡准看護学院閉校にかかる定款変更承認の件について、三浦理事より説明をお願いいたします。

三浦理事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。この件について、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。それでは、第3号議案鶴岡准看護学院閉校にかかる定款変更承認の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

（挙手多数）

挙手多数につき第3号議案鶴岡准看護学院閉校にかかる定款変更は承認されたものと認めます。7.の協議に入ります。協議事項などお持ちの方はいらっしゃいますか。それでは、これをもちまして、一般社団法人鶴岡地区医師会第108回定時総会を閉会いたします。本日は、長時間にわたりご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

（20時10分　閉会）

鶴岡地区医師会勉強会抄録



『地域の生活といのちに責任を持ち続ける地区医師会を目指して
～人生という“川”の上流から下流まで、専門領域や機関、
時相を踏まえた総合性やハブ機能を集団として果たす～』

あおぞら診療所 院長
松戸市医師会 会長

川越 正平 先生

発熱の初療が、コロナ禍でかかりつけ医の責任性として問われた。救急搬送困難事案の発生を含め、医療の機能不全が露呈したことは否めない。結果として、2022年度の骨太の方針に「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」が盛り込まれた。

高齢化の進展とともに、認知機能障害やフレイルの重要性は増す一方であり、リハビリ・栄養・口腔等に関する総合的な介入が求められる。医師が直接行う形だけでなく、他機関に所属する専門職を含め、地域多職種チームを指揮者のように司る実践が期待される。最たる例が食支援や緩和ケアである。疾病の軌道を予測し、継続的な意思決定を支援することも、根幹に関わる役割である。

高度な専門医療や救命医療と対比すると、地域医療に求められる役割は異なる文脈や物差しに基づいて検討する必要がある。経済困窮、介護離職、ヤングケアラー、孤独・孤立、虐待、8050問題、ひきこもりなど、病態や世帯に併存する課題は多岐にわたる場合も少なくない。生活の視点に基づき、患者や世帯ごとの個別性を踏まえた助言や支援が求められる。

一方、認知度が高まりつつある社会的処方について、その名称から医師が単独で実施することだと誤解されることや、地域包括支援センターやまちの保健室を紹介するなどの薄っぺらい取組みだと矮小化して捉えられることは意図して避けたいところである。自院以外の機関や専門職、地域関係者等との協力関係に基づく取り組みなど、診察室内にとどまらない実践だと認識しつつ、経験を重ねるべきであろう。そして、既知の知見や現行制度だけでは解決でき

日時：令和5年6月1日(木) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

ない状況に遭遇した場合には、その事案を地域課題として明瞭に認識し、地域ケア会議等を通じて「地域を医す」ことに取り組む力量を有するのが在宅医療実践者であり、地区医師会である。一例として、支援事例の経験から把握した地域課題への取り組みとして、AYA世代がん患者の在宅療養支援の新規事業化を松戸市に提案して実現に至った経過や、この松戸市の動きが柏市や千葉県の施策立案につながった経緯について紹介する。

さらなる取り組みの例として、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の委託を受けた市町村事業の経験や糖尿病性腎症重症化予防プログラムへの深い関与、小中学校に出向き健康啓発授業を行ううまっこプロジェクトの実践についても紹介する。

終末期に限らず、その時にふさわしい助言や医療ケアを提供する。生ある限りそのような支援を継続することにより、最終的に看取りに至ることになる。臨床実践や協働経験の総和が、その地域における地域包括ケアの体制構築に寄与するのであり、その範囲を全年齢、全疾患に拡大するとともに、外来診療との連続性や、自治体や保険者が行う保健事業との協同が今後重要になる。医療・介護・福祉領域にとどまらない多領域と協同する経験の積み重ね、ひいては、規範的統合を地域で醸成することによって、地域共生社会が実現するだろう。在宅医療実践者や地区医師会だからこそ、老いても病んでも、そして誰にとっても暮らしやすい地域づくりの一翼を担う。その実現のために一つ一つの地域課題への取り組みを今後も重ねていきたい。

観桜会、病・医院永年勤続者表彰式

日時：令和5年6月23日(金) 19:00～
場所：グランド エル・サン

【永年勤続者表彰受賞者】

三井病院	三井伸弥さん	黒沢眼科医院	丸山絵理子さん
三井病院	三井亜希子さん	鶴岡地区医師会	工藤由美さん
三井病院	長澤智子さん	鶴岡地区医師会	五十嵐ちづるさん

去る6月23日(金)、4年ぶりの観桜会、病・医院永年勤続者表彰式がグランドエル・サンにて、会員25名、永年勤続表彰受彰者・関係者11名、ご来賓2名、職員20名の総勢58名が参加し開催されました。

進行役の石原良副会長の開会宣言に続いて、福原晶子会長より定時総会が無事に終了したことの御礼を含めた挨拶があり、その後三医療機関6名の永年勤続者表彰をし、代表の三井病院 三井亜希子さまから謝辞を賜りました。

新入会員は残念ながら皆さまご欠席のためお名前と略歴のご紹介にとどめました。

堀内隆三議長の乾杯のご発声で宴が始まり、久しぶりにお会いできた方々との楽しい時間はあっという間に過ぎ、菅原真樹副会長の一丁締めでお開きとなりました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症が完全に収まっているわけでもなく、他の感染症も幼児を中心に行なっているようです。日常的に発熱患者を診療されている先生方の中には懇親会の参加に抵抗をお持ちの方がいらっしゃるのも事実で、以前のように会員皆さま方が心から楽しめるときがいつになつたら訪れるのか先が見えません。

それでもやはり顔を見ながらの雑談に少しだけ医療の話ができ、お互いに名前と顔が一致する関係になれれば、これから鶴岡地区医師会も会員のため、地域住民のための活動を継続していくのではないかと感じました。

医師会行事も以前のように開催していきます。会員の皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

事務局次長 菅原 由紀



謝 辞

この度は、私どものために、このような表彰式を催していただき、ありがとうございます。一医療従事者として働き続けてきたことを、功績として認めていただき、大変嬉しく思います。

私は2001年、三井病院が美咲町に移転する年に入職しました。それから21年の間、仕事と子育てに追われながらも勤め続けることができたのは、職場のスタッフや、関わってくださった方々のお力添えがあってのことだと思います。今は子供たちも家から離れ、夫婦二人の生活に戻ってしまいましたので、これからは、職場の皆が長く働き続けられる環境を作り、支える側として頑張っていきたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

医療法人なごみ会 産婦人科・小児科 三井病院 三井 亜希子



第18回 鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペ

日時：令和5年6月4日(日) 9:14 インスタート
場所：湯の浜カントリークラブ

第18回鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペが令和5年6月4日(日)に湯の浜カントリークラブで開催されました。ここでは、優勝されました阿部和人様より、当日の様子等をご執筆いただきました。

* * * * *

ここ最近ドライバーが不調だったため、ミーハーな私は今年3月に今流行りのキャロウェイ「パラダイム」という新作のドライバーを購入、それに伴い普段は練習嫌いな私も練習場に行くようになりました。最近のギアはとても性能が良く、飛距離も伸びはしましたが、それよりも芯を外した時でもそれなりに曲がらず飛んでくれるのが凄いと感じました。そして医師会のゴルフコンペを迎えます。朝から天気の様子が微妙な一日でした。着るものも半袖でいいのか、インナーがあった方がいいのか、レインウェアが必要なのかなど迷うような天候でした。冒頭の挨拶で福原晶子医師会長より「今回でこの医師会親睦ゴルフコンペは最後になります」という話を聞



き（実はそれ以前に、お誘いいただいた五十嵐敬郎先生より最後になるかもとは聞いてはいましたが…）、これは部外者である私が優勝したらとんでもないことになるとゾッとした。私たちの第2組は、福原先生、横山先生、上野先生と一緒にプレーを開始、スタートしてから前半の中盤にさしかかった頃、急に天気が一転、一時は土砂降りに近い雨に降られてしまい、ゴルフカートの雨よけの設置を行なながらレインウェアの着用や傘の準備などでプレーが

競技方法：ダブルペリア	打数制限：ダブルパー	HDCP上 男：36.0 女：36.0	HDCP下 男：0.0 女：0.0
-------------	------------	---------------------	-------------------

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	阿部 和人	44	43	87	14.4	72.6
準優勝	五十嵐敬郎	46	48	94	20.4	73.6
3位	斎藤 高志	55	68	123	45.6	77.4

組み合わせ

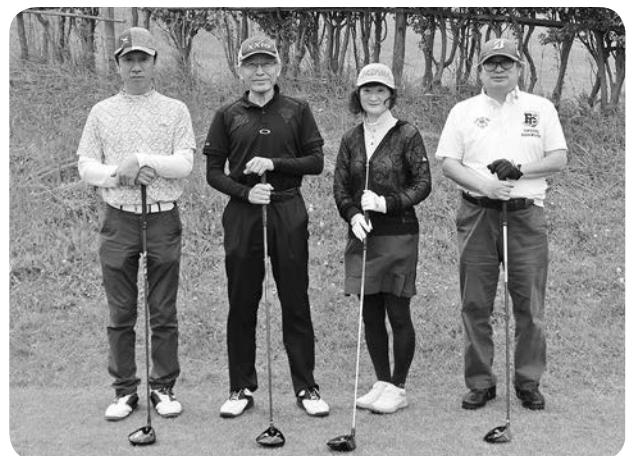
1組	五十嵐敬郎	伊藤 末志	斎藤 高志	石原 良
2組	阿部 和人	横山 靖	福原 晶子	上野 欣一

一旦停止状態になるほどでした。それでも何とか前半を終了し食事休憩になります。昼食中はゴルフトーナメントの話や日本中のゴルフ場の話などで盛り上りました。去年はあのコースで誰が優勝したとか、あのコースは思ってたよりずっと難しかったとか、あのコースはあの番組で使用されてたコースだとか、先生方の豊富な知識と経験を興味津々で聞きました。そして後半がスタート、風は強かったものの運よく雨は降られずにすみました。連続でトリプルボギーを叩くなどのトラブルもありましたが、ただこれで優勝は無くなったなと少し安心していました。アトラクションはメンタルのせいか、新しいドライバーの調子は悪くないのにドラコンホールだけ左右に曲がるし、他のアトラクションも何一つヒットしませんでした。ただ、

ベスグロだけはプレー終了後に分かっていたので、それだけで十分だと思って懇親会＆表彰式を迎えます。しかし！なぜか優勝…何が？とスコア表をじっくり見るとトリプルボギーを叩いた2ホールとも隠しホールになっていたため、ハンデが多くつき優勝してしまうという神様のいたずら…優勝という絶対にやってはいけない結果になってしまいました…様々な賞品やクリスタルトロフィーまでいただき本当に恐縮しております。最後の医師会親睦ゴルフコンペがこのような結果になってしまったこと、医師会の皆様本当に申し訳なく思っております…

最後に今まで医師会のゴルフコンペに何度も参加させていただき本当に有難うございました。

荘内病院 薬局 阿部 和人



新入会員紹介

～令和5年5月1日入会～



氏名：鈴木 優太

生年月日：平成2年5月9日

生まれた所・育った所：山形県天童市

勤務先・診療科目：鶴岡協立リハビリテーション病院・リハビリテーション科

出身校：山形大学医学部

趣味・特技：温泉

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

医師会ニューフェイス

～令和5年7月1日採用～



氏名：渡部 香菜

所属：介護老人保健施設 みづばしょう

療養課 看護師

趣味・特技：動画視聴、音楽を聴くこと

ひとこと：早く仕事に慣れるようにならんばかりだと思います。

よろしくお願いします。

めでいかすとる5月号 お詫びと訂正

5月15日発行 めでいかすとる5月号（第357号）に掲載しております「医師会ニューフェイス」におきまして、掲載した氏名の一部に誤りがございました。誠に申し訳ございません。
正しくは以下のとおりです。訂正しお詫び申し上げます。

誤： 清野 百利

正： 清野 由利

広報誌「めでいかすとる」保管用のファイルの配布について

広報誌「めでいかすとる」保管用のファイルについては、希望する会員に対し2年に1度配布しており、今年度は配布の年にあたっておりますが、令和3年度より「めでいかすとる」が年6回発行になったことに伴い、今後は5年に1度、アンケート調査を実施し、希望する方へ配布させていただくことになりました。ご理解くださいますようお願い申し上げます。なお、次回の配布につきましては、令和8年7月を予定しております。

学術広報委員会

表紙

「きらきらぼし」

真柄 博志

7月に発行する、めでいかすとの表紙に使用する季節に合う写真がなく、2021年7月1日に撮影した写真です。ガクアジサイの「きらきらぼし」という品種です。

編集後記

梅雨が明ける季節となりましたが、本格的な暑さの中で、皆様いかがお過ごしでしょうか。私事で恐縮ですが、昨年度から鶴岡地区医師会の副会長を務めさせていただき、一年をむかえることができました。右も左もわからず、皆様にご迷惑をおかけしたと思いますが、多くの先生方からご助力いただきとても感謝しております。これからも微力ながら、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、約2か月が経過しました。マスクを外す人も散見され、飲み会やイベントもコロナ前と同じように行われるようになってきました。4月末に行われた山形県縦断駅伝競走大会もその中の一つです。3日間にわたり山形県内の全域を走る市町村対抗の駅伝大会です。今年で67回を迎えたこの歴史ある大会に、中学2年生の息子が初出場することができました。沿道での応援も制限がなくなり、鶴岡田川のユニフォームを着て走る息子を応援することができました。私自身も、走るドクターとして、地元の駅伝大会に出場し続けてきましたので、自分のことのように喜びました。今では、スピードの違いで一緒に走ることはかないませんが、小さいころにはよく一緒に走り、地元のために走ることの意義を伝えてきたつもりです。これからは、勉強が忙しくなりとても大変だとは思いますが、地元鶴岡のため、この歴史ある駅伝大会に出場し続けてもらいたいです。

(菅原 真樹)

編集委員：渡邊秀平・菅原真樹・吉田 宏・阿部周市・真島英太・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております [鶴岡地区医師会](#)  URL <https://www.tsuruoka-med.jp>